

「生徒が輝く日本一の小規模校」を目指して  
自立した社会人の基盤づくり～「夢」・「規律」・「感謝」～



平成26年度矢板市立泉中学校だより【第8号】

# 中学「い、ずみ」

■発行/平成26年8月1日(金)

## 県総体塩谷地区予選会 テニスで団体と個人 ともに 男女アベック「準優勝」!

7月19日(土)20日(日)の両日(テニスは20日(日)21日(月))平成26年度栃木県中学校総合体育大会の塩谷地区予選会が塩谷地区内の各会場で行われ、泉中生は持久力向上タイムで鍛えた体力・気力と部活動で培った技をもって試合に臨みました。

テニスでは、団体で男女共に春季大会に続き準優勝。個人戦でも女子の3年生薄井美香・鈴木菜那組、男子の3年生加藤 光・豊田健太組がともに準優勝に輝くなど大活躍しました。また、陸上2年生男子では、村上和寿さんが1,500mでこれまでの大会記録を約4秒上回る大会新記録で1位に輝くとともに、3,000mでは大会記録に後2秒に迫る走りで2位となりました。

3年生は今回の総体で部活動を引退します。日々の練習の質の大切さ・大会でのドキドキ感等、机に向かっての勉強だけでは学ぶことのできない貴重な体験をたくさん積んだことと思います。これまでの経験を各自なりに生かし、「自己の才能を自分で磨く」ことを期待します。

また、1・2年生の皆さんは、先輩に負けない成績を残すようこれまで以上に「武充文充」の精神で「体・心そして頭を鍛える」ことを期待します。



県大会で円陣を組むテニス部女子の選手

### <各部の結果>

#### ◆ソフトテニス(氏家中学校テニスコート)

(団体戦) \*男子は優勝の1チーム、女子は優勝・準優勝の2チームが県大会出場

<男子>予選リーグ <Bブロック>2位 ○泉3-0塩谷●、●泉1-2矢板○

決勝トーナメント <準決勝>○泉2-1氏家 <決勝>●泉1-2矢板○

★石崎陸玖、阿美悠太、池田雅仁、加藤 光、高瀬立真、津久井俊貴、豊田健太、福田悠士

<女子>予選リーグ <Bブロック>1位 ○泉2-1矢板●、○泉2-1氏家●

決勝トーナメント <準決勝>○泉2-0喜連川● <決勝>●泉1-2矢板東附属○

★鈴木菜那、薄井美香、阿美真衣、金子結花、森戸聖実、山崎くるみ、吉沢舞花、吉成加奈

(個人戦)

<男子>準優勝 加藤 光・豊田健太 組 \*県大会出場

<女子>準優勝 薄井美香・鈴木菜那 組 \*県大会出場

#### ◆陸上(塩谷町運動公園)

<男子>2年生男子 1,500m 1位(4'24"9)大会新 村上和寿

2年生男子 3,000m 2位(9'34"1) 村上和寿

2年生男子 砲丸投げ 2位(6m91cm) 森田 禅

2年生男子 4×100mR 4位(52"6) 平山隼斗・村上和寿・金井亮太・伊東拓真

#### ◆野球(高根沢町民広場野球場)

1回戦 ●泉0-5阿久津○

★手塚海斗、片山順平、東泉直人、山口 輝、渡邊琢巳、菅野 潤、関 秀太、竹田綾介、  
船山惇大、吉田優太、伊東侑祐、東泉裕輝、松平隆宣、菊地修平、西川太一、山口遙己、  
吉田拓生、渡邊 聡、渡邊拓馬

#### ◆バレーボール(阿久津中学校体育館)

<女子>予選リーグ<Cブロック>3位 泉●0-2○塩谷、泉●1-2○阿久津

★増形由衣、佐々木祐佳、鈴木 京、渡邊千尋、渡邊琉楠、小宅ひなた、小平ニコル、  
細川凜子、増淵 栞、矢板優実、山口凜奈、兼松侑那、佐藤璃和、細川瞳子、村山夏美

## 持久力向上タイム 夏休みも実施中!

夏休み前のPTAでお伝えしたように、今年の夏休みは初の試みとして夏季休業中にも持久力向上タイムを実施しています。

昨年度の持久力向上タイムは、3年生の場合7月上旬で終了でした。これでは、夏休み中の1月半運動しないことになり大きく体力が低下してしまい、それまで鍛えてきたことが夏休み明けの運動会や10月上旬の校内駅伝競走等の行事につながりませんでした。そこで今年は新しい試みとして、夏休みにも持久力向上タイムを実施することにしました。下記の表がその基本的な日課です。

学年	8:00~8:30	8:45~11:15	11:30~12:30
3年生	持久力向上 *駅伝	補習 *10:50まで	*11:00~ 合唱部
1・2年生	持久力向上 *駅伝	部活動	合唱部

8時から全生徒が「持久力向上タイム」を実施。1・2年生はその後「部活動」を、3年生は「補習」(国・社・数・理・英の5教科の1年生から3年生夏休み前までの「総復習テキスト」を使用。夏休みの最後に理解度の確認テストを実施)をします。そして、最後に合唱部の練習となります。

なお、各部活動監督の推薦による生徒で実施している駅伝部の練習も持久力向上タイムを活用して同時進行で実施しています。男女あわせて30名超の生徒が練習する姿には、泉中生の元気を感じます。

現在のところ、部活動の終了した3年生が規則正しい生活リズムを維持したり、各部活動が一斉に実施できたりするなどプラス面が多く見られます。今後とも、保護者の皆様の御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

## 水の事故に十分注意を

7月29日(火)に行われた地区中校長会の席上、表記のことにして生徒保護者への啓発活動を十分行うよう話がありました。

6月に岐阜県の本曾川で小中学生3人が水死した事件をはじめとして、今年の夏もまた川や海での水の事故による死亡事故が連日報道されています。本校では、「夏休みの過ごし方」(保護者の方にも配布済み)の資料に基づき夏休みの指導をしています。その中の「3安全な毎日を送る」の第2項として「川で遊泳をしない(全河川とも遊泳禁止)」を掲げ指導の強化を図っています。

今一度夏休みの過ごし方を親子で話し合ってください、水の事故、特に「川での水の事故」のないようよろしくお願いいたします。



## 道徳・人権コーナー No.3

今回は、道徳の授業について掲載します。道徳に関しては初掲載ですので、今回は文科省の資料を参考に現状を紹介いたします。

- ◆我が国の子どもたちのマイナス面に関して、以下の指摘がなされています。(平成20年中央教育審議会答申)
  - ①「生命尊重の心」や「自尊心」が乏しい \*自尊心が他国に比べて「極めて」低い
  - ②「基本的な生活習慣の確立」が不十分
  - ③「規範意識」の低下
  - ④「人間関係を築く力」や「集団活動を通じた社会性の育成」が不十分
- ◆道徳教育については、上記の課題を踏まえ、平成20年、21年に改訂した新学習指導要領(現在の公立校はこれに基づいて指導をしています)において充実・改善を図っています。
- ◆子どもたちの豊かな人間性は、「学校」だけではなく、「家庭」や「地域社会」を通じてはぐくまれます。道徳教育の充実に当たっては、保護者と学校・地域の連携が不可欠です。
- ◆学校における道徳教育への支援策
  - ①小学校、中学校における道徳教育は、「道徳の時間」(年間35時間、週1時間)を要として、学校の教育活動全体を通じて行われています。
  - ②新学習指導要領の改善点
    - 1) 発達の段階に応じた指導内容の重点化
      - ・小学校では「あいさつなどの基本的な生活習慣」  
「人間としてしてはならないことをしないこと」  
「集団や社会のきまりを守ること」
      - ・中学校では「主体的に社会の形成に参画すること」
    - 2) 児童生徒が感動を覚えるような魅力的な教材の開発や活用
    - 3) 道徳教育推進教師(道徳教育の推進を主に担当する教師)を中心とした指導体制の充実
      - \*本校では「君島玲子教諭」が担当です。
    - 4) 道徳の時間の授業公開、家庭や地域社会との共通理解・相互連携
      - \*10月29日(水)小中合同研修会における3年生の授業を公開しますのでご覧ください。